芝久保小学校 研究だより

令和８年10月１６日（金）No.1　西東京市立芝久保小学校　研究主任

清秋の候、いかがお過ごしでしょうか。保護者の皆様には、なお一層健やかにお過ごしのことと存じます。今年度も、全教職員で校内研究の充実を図るための、研修・研鑽を行っています。今年度は、

自分の考えを深めることができる児童の育成
～算数科における指導の充実～

を研究主題とし、年間3回の授業研究を実施します。児童一人一人の資質・能力の向上を目指し、全教職員で学びを深めてまいります。

研究構想図

西東京市立芝久保小学校教育目標

自他の人権を尊重し、よりよい国際社会を築くための資質や能力の伸長を図る。自ら学び、自ら考え、元気で心豊かな思いやりのある児童の育成を目指す。

粘り強く考える子　◎仲良くする子　元気に活動する子

教育課程企画特別部会
論点整理（令和7年9月25日）

自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続可能な社会の創り手の育成を目指す。

学習指導要領総則（平成29年告示）

児童が自ら「見方・考え方」を働かせながら知識を活用し、新たな知識を習得することができる授業を展開していく。児童の資質・能力を育成していくことを目指す。

昨年度の児童の姿

- 協働的な学びの手立てを講じることで、児童が多様な視点で自分の考えを深めようとする姿が見られた。また、自分の考えを対比することで、新たな気付きを得る児童が増えた。
- 学習過程の工夫や課題設定の工夫を行うことで、児童が考えることに必然性をもつことができた。
- 考えをもつことに対する児童の差が顕著にでている。

自分の考えを深めることができる児童の育成
～算数科における指導の充実～

研究仮説

「児童が自ら問いをもち、自分の考えを可視化・対象化する場を構築すれば、多様な視点での対話を通して、一人一人が自らの考えをより納得感のあるものへと更新し、深めることができるであろう。」

【考えをもつこと】

日常生活や数学の事象を数理的に捉え、既習の知識や「数学的な見方・考え方」を働かせて自分なりの解決の見通しや方法を構築すること

【考えを深めること】

対話や振り返りを通じて、自分の考えをよりよい解法に練り上げたり（洗練）、複数の事柄を統合・発展させて新しい概念を形成したりすること

検証方法

- 分科会ごとに、考えをもつこと、考えを深めることの具体的な児童像を設定する。
- 授業研究を通して、検証および効果的な指導方法を示す。
- 児童に研究主題に迫るための意識調査を通して、年間の変容や関連を見る。

4月から低・中・高学年分科会に分かれて、「目指す児童像」の設定、日々の授業研究等、研究に励んできました。9月に中学年分科会による授業研究を実施しました。その様子をご覧ください。

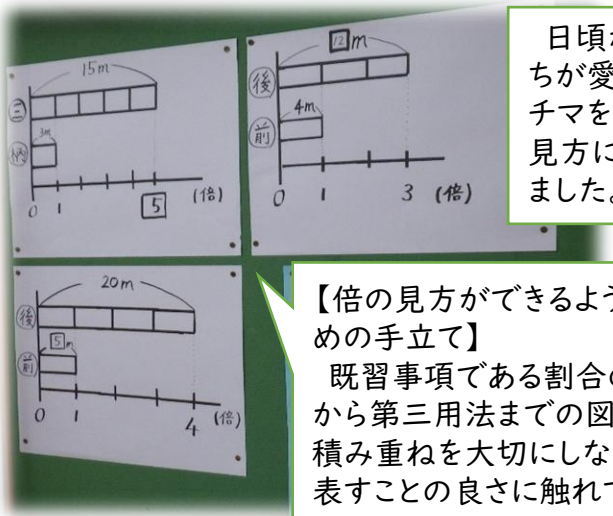
中学年分科会　実践報告

4年生「倍の見方」

中学年分科会　目指す児童像

考えをもつ
数学的な見方・考え方を働かせて問題解決の見通しをもつ児童

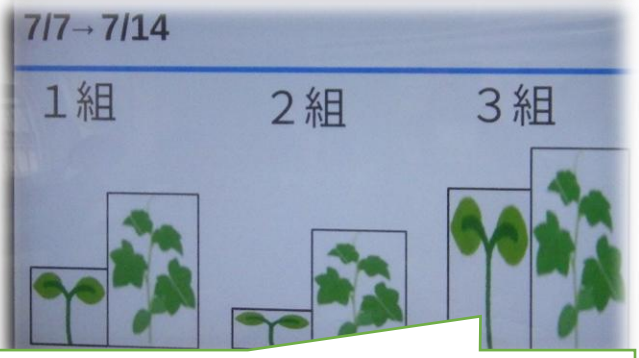
考えを深める
多様な考えを比較して、よりよく考える児童

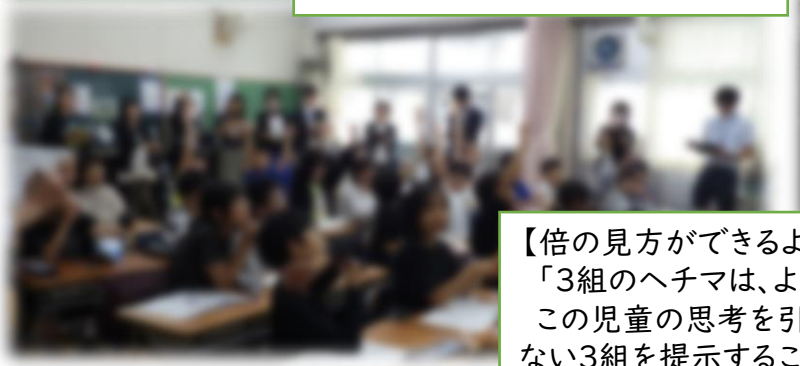


日頃から子どもたちが愛でていたヘチマを題材に倍の見方について考えました。

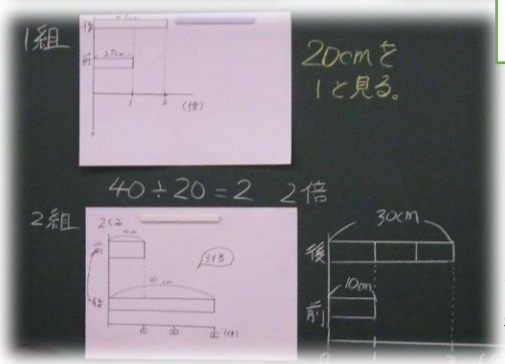


【倍の見方ができるようにするための手立て】
既習事項である割合の第一用法から第三用法までの図。毎時間の積み重ねを大切にしながら、図で表すことの良さに触れていました。





【倍の見方ができるようにするための手立て】
「3組のヘチマは、よく伸びていないよ。」
この児童の思考を引き出すために、あえて差でみるとよく伸びていない3組を提示することで、「差の見方」ではなく「倍の見方」で比較できるようにしました。



差の見方ではなく、倍の見方で1組と2組のヘチマを比べる子どもたち。ノートにかいた図と式を基に、一生懸命自分の考えを説明していました。算数の授業で、図を使って考えを整理したり、立式の根拠にしたりすることはとても大切なことです。また、友達に自分の考えを説明する際にも、図を使うことで根拠を基に伝えることができます。「○組のヘチマの方がよく伸びた！」だけではなく、「（図を指さしながら）ここを基にしたとき、こっちの方が…」と説明していた4年生、さすがでした。



「どうしたら倍の見方を働かせることができるか」
「考えを深める子の具体的な姿はどんな姿なのか」
中学年分科会でたくさん検討した内容です。子どもたちも先生たちも、単元を始める前から2倍も3倍も成長したと思います。授業を終えて教室に戻ってきた子が、
「すっごい緊張した！でも、永井先生もすっごい緊張してたよ！」
もしかしたら2倍、3倍どころではないかもしれません。本当にいい授業でした。引き続き、大好きな4年生と一緒に、先生たちも成長し続けます。